

# みんなの町議会



みのりの秋 笑顔で歓迎  
さんわ182ステーション

|           |   |
|-----------|---|
| 新庁舎完成     | 4 |
| 決算質疑      | 6 |
| 決算意見書     | 8 |
| 令和2年度決算認定 | 9 |

# 更なる挑戦

**認定**

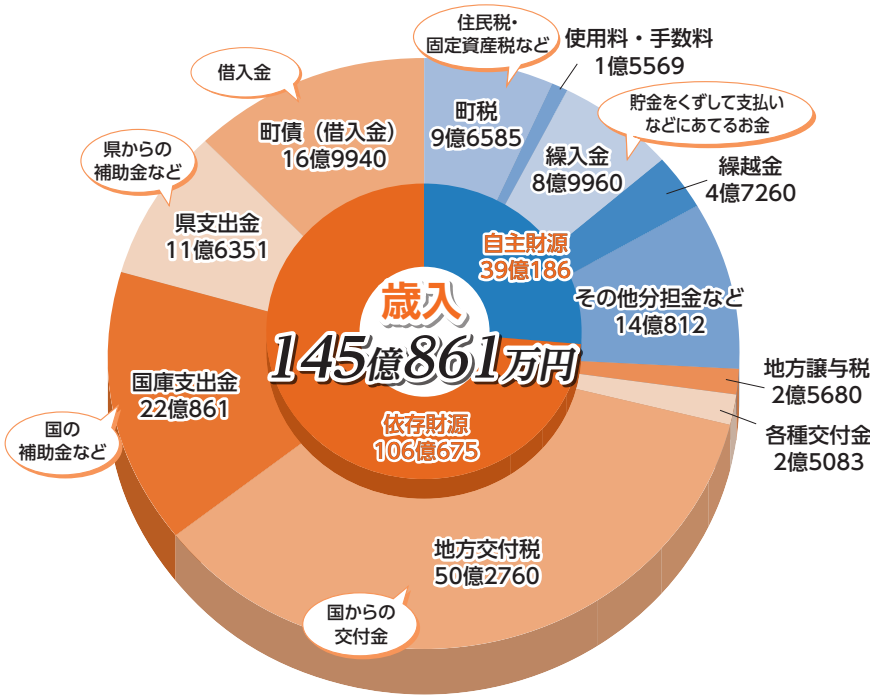
一般会計

**145億861万円**

**9月  
定例会**

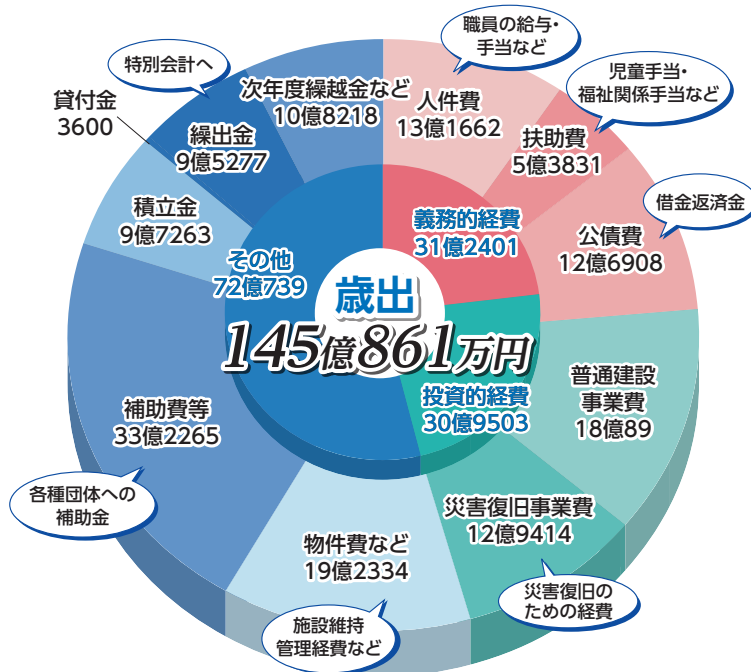
## 歳入

前年度比で、25億7415万円の増、率にして21.6%の増である。主な要因は、地方交付税や寄附金などの増額によるもの。  
歳入額に占める自主財源率は、26.9%で前年度より1.1ポイント減となっている。



## 歳出

支出済額の執行率は、95.5%となっている。前年度比では、22億5456万円の増、率にして20.2%の増である。主な増額要因は、庁舎建設事業、特別定額給付金事業や新型コロナウイルス感染症対策関連経費などによるもの。



(単位万円) (四捨五入)

9月定例会は、9月3日から9月16日まで開かれました。令和2年度の全会計を決算認定し、令和3年度の補正予算を含め32議案を審議し、すべて原案通り可決しました。  
一般質問では、8人が町長、教育長に行政課題などについてたずねました。

# 全会計黒字決算

## 本町の財政状況

実質公債費比率は5.7%に改善。実質収支は黒字決算で6億3230万円を翌年に繰り越す事業に充てるとともに、3億2000万円を積み立てた。普通会計の基金総額は、約106億1000万円で前年度と比較すると約4億3000万円、率にして4.04%の増となった。基金運用の収益は約1億1000万円となった。以上のことから、令和2年度の財政運営は健全かつ適切である。

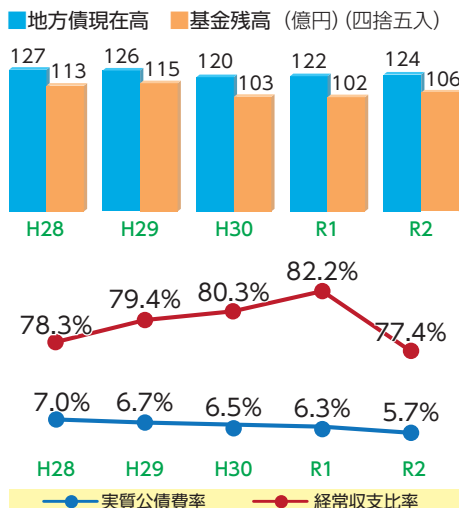
しかし、自主財源は26.9%依存財源率は73.1%となっており、引き続き危機感を持って行財政運営に努めていくことが肝要である。

## 令和2年度 各会計歳入歳出総括表

単位：万円（四捨五入）

| 会 計 名   | 歳入決算額     | 歳出決算額    | 繰越財源    | 差引残高   |      |
|---------|-----------|----------|---------|--------|------|
| 一 般 会 計 | 145億861   | 134億2643 | 4億4989  | 6億3230 |      |
| 特 別 会 計 | 国民健康保険    | 10億8358  | 10億3030 |        | 5328 |
|         | 後期高齢者医療   | 3億5932   | 3億5854  |        | 79   |
|         | 介護保険      | 18億9140  | 18億5082 |        | 4058 |
|         | 簡易水道事業    | 2億8240   | 2億5945  |        | 2295 |
|         | 飲料水供給施設事業 | 4388     | 3686    |        | 701  |
|         | 農業集落排水事業  | 2億9448   | 2億7703  |        | 1745 |
|         | 総合開発事業    | 18       | 18      |        |      |
|         | 分収育林事業    | 5        | 5       |        |      |
| 企業会計    | 病院事業      | 8億7263   | 8億7263  |        |      |
| 合 計     | 193億3652  | 181億1228 | 4億4989  | 7億7435 |      |

## 決算指数の推移



※経常収支比率とは  
財政構造の弾力性を表すもの。  
高すぎると新しい施策が出来なくなる。  
70～80%が理想とされる。

※実質公債費比率とは  
町の収入に対する負債返済の割合。  
(18%以上だと借入に国・県の許可が必要)

# 新庁舎完成

## 持続可能なまちづくりと 防災の新拠点



議員側から見た議長席及び執行部席

神石高原町新庁舎は、持続可能なまちづくりと防災の新たな拠点としての機能を果たしていかなくてはなりません。更に、「町民第一」の視点で創意工夫を実践し、明るさ・楽しさ・優しさに満ちた役場となり、そして人と建物の両面から、町民皆様のニーズにお応えし、満足度の向上に務めなくてはなりません。

私たち議員は、原点に立ち、町民皆様の代表としてとして自覚を今一度胸に叩き込み、責任が持てる議員として邁進すること、そして議会の資質向上と更なる議会改革を目指し、厳しい姿勢で取り組んでいく決意でございます。

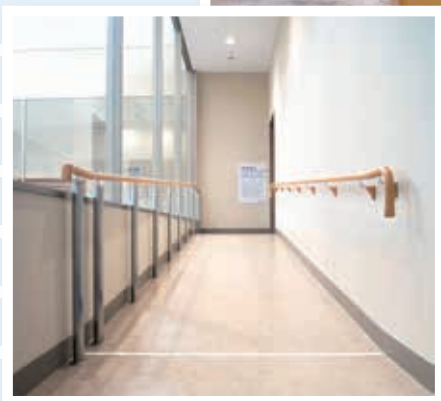
神石高原町議会議長 橋本 輝久



10月14日に業務開始した役場新庁舎



議員席と発言席



傍聴席へのスロープ

# 令和2年度 決算質疑

## 政策企画課

### 事業承継支援事業

**藤田議員** 神龍味噌の事業承継に於いて300万円の補助金は指定寄付を充当しているのか。

**政策企画課長補佐** 商工会を通じてペイペイ事業に参加いただくようお願いをした。

ペイペイ事業とあわせて「こうげん通貨」の事業を実施したので、スマホを持っていない方などは、「こうげん通貨」をご利用いただいた。

### J-INプレミアム事業

**横山議員** J-INプレミアム認定の意義と審査構成員は。

**政策企画課長補佐** この事業は町内のすばらしい農産物や加工品を、プレミアム商品として認定し、町の発信力を生かして販売のフォローをしていく事が目的だ。

令和2年度では5品目を認定した。審査は町の戦略会議構成員で行っている。

### 事業継続・雇用維持支援事業

**政策企画課長補佐** 財源は「企業版ふるさと納税」寄附金である。その事業に賛同していただいた企業からの寄附金なので全額交付している。

**柏床議員** 町内商店の2回の消費喚起事業を行ったが、ペイペイ事業参加者以外のデジタル弱者には恩恵が少なかったのでは。

の。

今後は、過去の認定商品や店舗への聞き取り調査やアンケートを実施したい。

### 特別定額給付金

**寄定議員** 特別定額給付金の取り組みと今後の課題は。

**政策企画課長補佐** 役場と各支所4カ所に受付窓口を設置し迅速に給付できた。

今後は、あらゆる給付金がマイナンバー活用により、添付書類なしで申請できるようにする。その仕組みの構築が課題である。

### 子育て世帯緊急支援事業

**久保田議員** 子育て世帯への商品券は、100%利用されたか確認するべきでは。

**政策企画課長補佐** 確認していないが、今後は検討する。

### チャレンジファンド運営

**小川善議員** 神石高原町チャレンジファンドの負担金及び補助金420万円の詳細は。

**政策企画課長補佐** チャレンジファンドの運営補助に100万円、経営的支援補助に320万円を支出した。

**小川善議員** 役員体制と報酬は。

**政策企画課長補佐** 理事3人は、評議委員会で決められた額の報酬、評議員3人は無報酬である。

### 未来創造課

#### 地域おこし協力隊

**寄定議員** 地域おこし協力隊は、町全体の課題など積極的な取り組みが必要では。

**未来創造課長** 町全体の課題に取り組むことも必要だ。地域の受け入れ体制整備を検討し取り組む。

### 子育て応援課

#### 放課後児童クラブ

**寄定議員** 放課後児童クラブは、来見小学校区を単独で実施すべきでは。

**子育て応援課長** 小学校区での設置が望ましいが、指導員など人材が不足しているので検討している。



事業継承で『神龍味噌』を甦らせた門田夫妻

## 産業課

### 道の駅リニューアル

**横山議員** 道の駅の商品開発で新しいメニューを考案されているが、今後の方針と、事業成果は。

**産業課長** 3年間で38品目のメニューを開発。ひとつでも多く商品化

し、フードコートの充実を目指していきたい。この事業の成果の一つとしては、本町の特産品を使ったフラフットビールの開発と販売ができた事である。

**久保田議員** 監査意見書では、運行されていない冷蔵車を処分するよう指摘があるが、対応は。

**産業課長** まるごと市場で使用していたトラックだが、廃車処分する。

## 保健福祉課

### 町立病院運営

**藤田議員** 一般会計からの繰入金が年々増加しているが、要因は。

**保健福祉課長** 病院建設と医療機器の購入が主な要因である。今後は医療機器の更新などはあるものの、建設が完了するので来年度以降、繰入金は大幅に減る見込みだ。

### 風疹ワクチン接種

**小川善議員** 風疹予防接種の状況は。

**保健福祉課長** 昭和37年4月2日〜54年4月1日生まれの760人を対象としている。抗体検査の結果、抗体がある人と、抗体が無く接種した人を合わせると220人程度で、

抗体保有率は3割弱である。9割を目標として、令和3年度まで延長して行っている。

**小川善議員** 残り半年で目標値まで達成できるか。

**保健福祉課長** 対象者は把握している。直接電話連絡などして、啓発に努めたい。

**寄定議員** 風疹抗体保有率を90%に引き上げるための取り組みは。

**保健福祉課長** 対象者の現状把握に努め、周知・啓発など接種率向上に取り組む。

## 建設課

### 危険な空き家対策

**寄定議員** 空き家対策の今後の方針と特定空き家対策は。

**建設課長** 当面、解体

補助を継続する。

危険性のある住宅は167棟、特定空き家は2件掌握しており、所有権の調査や指導・命令を行う。

## 教育課

### 海外交流事業

**横山議員** 中・高生の海外交流事業が新型コロナウイルスの影響で中止になったが、代替策は。

**教育課長** オーストラリアの学校とインターネットで年4回の交流をしている。これを継続していくが、関係性を築いていく事が、コロナ禍で重要な事だと考える。

### 公立学校情報機器整備事業

**寄定議員** タブレット端末の管理は適正か。

**教育課長** ID(識別番号)などは教育委員会と適切に管理している。日々の活用についてネットモラルなどの教育が必要と考える。

**柏床議員** 教育用タブレットPCを570台導入しているが、導入時期と当該年度の活用は行ったのか。

**教育課長** 令和2年10月末に整備が完了した。それ以後、インターネット調べなど活用している。

### コロナ禍のALT指導体制

**林議員** ALT3人の内1人が契約より、早期に帰国したが、職務専念義務違反ではないのか。

**教育課長** 契約期間中の、就業時間中に使用者の指揮の命令のもと、職務に専念する義務がある。この度は契約期間の変更であり、違反ではない。



タブレットPCと電子黒板での授業

## 令和2年度 決算審査意見書(抜粋)

代表監査委員 橋本 龍之 監査委員 木野山 孝志

令和2年度の予算編成は、平成30年7月発生の災害復旧事業を優先し「第2次長期総合計画」に沿った事業推進されるなか、持続可能なまちづくりをめざして「補助金のあり方の見直し」がすすめられた。

地方交付税の縮小の中、歳入の確保、歳出の縮減に努めるとともに、事業の優先度や緊急性を精査することにより、行財政運営に、職員一人ひとりが強い危機感をもって、丁寧で、迅速かつ確実な事業執行にあたられたい。



病院事業会計は、運営資金貸付基金について、目的基金であることに鑑み貸付額相当分の積立とし、不用額は一般会計に振り戻し有効に活用されたい。

継続的に地域医療体制を堅持するために、引き続き一般会計、保健・医療・福祉基金の財源確保に鋭意努められるとともに、経営努力に徹し適切な事業が行われるように努められたい。また、新築移転後に於いては、より親切丁寧な接遇や医療体制の充実を図り「町民に信頼される病院」として愛されるよう鋭意努力されたい。

### 指摘・要望事項

#### ①基金

運用から生じた収益は、毎会計年度の歳入予算に計上されたい。

#### ②各種補助金交付について

各種団体運営補助金で多額の繰越金を保有している団体について、次年度以降の算定基準を見直されたい。

#### ③固定資産税の賦課について

公平性の観点から慣例・前例にとらわれることなく、適正に課せられたい。

#### ④公有財産の取得について

「物件の境界及び現況確認の上」目的に沿った必要な物件のみ、取得されたい。



# 令和2年度決算認定

## 賛成討論

### 寄定議員

通常業務に加え新型コロナ対策の、これまで経験したことのない激務だったが、影響を最小限に止めたことを高く評価する。

賛成理由の第一は、財政の健全化である。実質公債費比率は5・7%に改善し、全会計黒字決算で6億3230万円を翌年に繰り越し、3億2000万円を積み立て、基金総額は、約110億6000万円、基金運用益は約1億1000万円となり、財政運営は健全、適切である。

次に、迅速・適切な新型コロナ対策だ。特別定額給付金の早期給付や町内事業者への経済対策や子育て世帯支援など、迅速できめ細かな対策を実施。避難所のエアコン設置やトイレの改修、小中学校や町内施設の整備を推進した。ワクチン接種は、早期準備による高接種率を高く評価する。

決算質疑での議員からの指摘事項や提案に十分配慮・検討し、「神石高原町に住んでよかった」と、幸せを実感できるまちづくりに繋がることを期待し、賛成討論とする。

## 反対討論

### 林議員

以下の理由で決算認定できない。

- 1 新庁舎建設事業により、財政の硬直化が予想されること
- 2 チャレンジファンド事業の持続性が危ぶまれること
- 3 A L Tの欠員により目標とした英語教育ができていないこと
- 4 コロナ禍に無料のPCR検査が行われていないこと
- 5 ペイペイの使用に事業者・世代間格差があること
- 6 森林環境譲与税使途の意向調査が土砂災害防止などの視点がないこと
- 7 畜犬登録システムに去勢・不妊手術した犬猫の情報は登録されておらず、事業の成果が確認できないこと
- 8 可燃性粗大ゴミの処理、民間委託が温室効果ガスの低減が確認できないこと

### 議員賛否表

○=賛成 ×=反対 欠=欠席

| 議案名               | 寄定<br>秀幸 | 藤田<br>晃己 | 木野山<br>孝志 | 小川<br>清治 | 久保田<br>龍泉 | 横山<br>素子 | 林<br>憲志 | 小川<br>善久 | 柏床<br>由夫 | 橋本<br>輝久 |
|-------------------|----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|---------|----------|----------|----------|
| 令和2年度一般会計歳入歳出決算認定 | ○        | ○        | ○         | ○        | ○         | ○        | ×       | ○        | ○        | —        |

その他の議案は全員が賛成 議長は採決に加わらない

# 補正予算質疑

保健福祉課

病院事業特別会計

久保田議員 政策医療交付金不足分3029万円の補正理由は。

政策企画課

地域活性化  
チャレンジ事業

久保田議員 地域活性化チャレンジの事業内容は。



新型のサル捕獲ワナ

保健福祉課長 給食部門と、医療事務部門を外部委託していたが、新型コロナウイルスの影響で直営にしたため、結果的に増額となった。

政策企画課長補佐 関係人口増に向け東京のビジネスマンにオンライン会議で町を知ってもらう業務やイベントを開催する経費

である。

林議員 神石高原町への経済効果をどう考えるか。

政策企画課長補佐 オンラインにより神石高原町を知って頂き、コロナが収束した後に神石高原町に訪れていただき、いずれ移住定住につなげるということを目標に、事業を展開して参りたい。

企業版ふるさと納税

林議員 企業版ふるさと納税の寄附金5000万円は、へき地診療所の医師派遣の報酬にも使われるのか。

政策企画課長補佐 企業版ふるさと納税の5000万円は、地域医療や災害対応力の強化を図り、命を大切にす町づくりを推進するNPO活動に賛同し寄附をいただいた。

建設課

柏床議員 道路橋りょう費の河川総務費、河川維持管理経費の委託料400万円の内容は。

建設課長 7・8月豪雨で流出した土砂の撤去と小規模護岸の維持を計画している。

産業課

有害鳥獣対策

林議員 サルの困いの設置後の管理とメンテナンスは。

産業課長 農の維持管理は、基本的には有害鳥獣駆除対策協議会の方へ補助金として交付する。捕獲隊と地域で維持管理をしていただきたい。

# 議会報告会(対話集会)中止

新型コロナウイルス感染症に係る拡大防止のため、本年度は中止と致します。皆様の大切な命を守るため、感染拡大防止にご理解とご協力をお願いします。



**問** ICT導入で実効性ある鳥獣害対策を  
寄定 秀幸 議員

**答** 確実な捕獲・負担軽減のため検討

**問** 鳥獣による被害は営農意欲の減退、耕作放棄地の増加などに拍車をかけている。より実効性ある鳥獣被害対策が必要では。

**答** 町長 毎年3000万円程度の予算措置で被害防止対策と駆除を実施してきたが、農作物被害は減少していない。引き続き力を入れた取り組みを進めたい。

**問** ICT活用や専門員配置が必要では。

**答** 町長 確実な捕獲と負担軽減のため、ICT導入を検討したい。

民間団体から、捕獲した有害鳥獣の肉の活用について提案をいただいているので、猟友会を含め協議したい。

その仕組み作りに地域おこし協力隊などの活用も含め検討する。

### 新型コロナウイルス対策

**問** 新型コロナウイルス対策と経済対策は。

**答** 町長 3回目のワクチン接種が検討されているが医療機関と十分に検討し準備したい。

飲食・宿泊事業者を対象として支援を行い、他の事業者に対しては国の追加支援に合わせ必要な支援を検討する。

**問** ワクチン接種の取り組みと課題は。

**答** 町長 町立病院の1日当たりの予約枠の設定が少ないと議会から指摘があったが、入院患者がおられ接種スタッフの確保が難しいとの理由。

今後は、接種実績を踏まえ、予約枠の設定を見直し速やかな接種体制をめざす。

**問** 子どもの感染防止対策に万全を。

**答** 教育長 感染症対策の徹底を図り万全を期す。児童生徒や教職員及び家族に発熱や風邪の症状がある場合は自宅での休養を徹底する。

学校内にウイルスを持ち込まないことが極めて重要であり、PTAと連携し保護者の協力と理解を呼びかける。

※その他の質問  
防災・減災対策



**問** 子どもたちの本物体験事業の目的は  
柏床 由夫 議員

**答** 児童生徒の成長の糧になることを期待する

**問** 本年度から、子どもたちの本物体験事業に各小中学校へ50万円予算化されたが事業内容は。

**答** 教育長 実施内容は、町内の様々な魅力的な素材を活用し、観光施設などの見学や町内事業所の協力を得ながら、事業体験、町内特産品のPR活動など、様々な活動を実施している。

**問** 各学校の取り組みは。どの体験。各施設など見学。

**答** 教育課長 各学校のテーマと取り組みは次のとおりである。

#### 油木小学校

**テーマ** 「命を守り、安心で安全な地域を育てることのできる子ども」を育成する。

**概要** 各学年単位での安心安全の観点から事業所などの見学。

#### 神石小学校

**テーマ** 発見、神石高原にこんなところがあるんだ。

**概要** 農業体験、森林セラピー、陶芸体験、お気に入りの場所のPR活動。

#### 豊松小学校

**テーマ** 豊松森林パーク活性化プロジェクト。

**概要** 豊松森林パークでの活動。遊具、オブジェクト作成、魅力発信PRチラシ作成など。

#### 三和小学校

**テーマ** ふるさと発見。

**概要** 各学年単位で町の歴史や文化・特産品な

#### 来見小学校

**テーマ** つながれプロジェクト！つながりを密にする。

**概要** 仙養地域の歴史を知る。施設見学、陶芸体験。

#### 三和中学校

**テーマ** 故郷を誇り、未来を切り拓く人材育成のために。

**概要** 学校内に地元協力事業所がブースを設置、生徒が地元事業所の活動を体験する。

#### 神石高原中学校

**テーマ** 森林セラピーなど。

**概要** 権現山で林業体験、神石牛、こんにゃく体験、備前焼体験など。

**問** 学校便りは、学校区内のみとなっているが、町内外の方に知っていただくべきでは。

**答** 教育課長 校長会を通じて、情報発信の在り方を検討したい。



**問** 特定地域づくり事業  
協同組合の進捗は  
小川 善久 議員

**答** 新型コロナの状況を  
見ながら調整

どの実施を予定していたが、新型コロナの影響により実施出来なかった。今後も、新型コロナの状況を見ながら調整して進めたい。

**問** コロナ禍である今のうちに人材を受け入れる環境を作っておくべきでは。

**答** 政策企画課長 先ずは、10月を目途に町内事業者への説明会を行う。

**ドローン事業の進捗状況は**

**問** 地産地防の担い手を増やすため、ドローン講習授業料の予算確保をしたが、どの様に受講者を募集をされるか。

**答** 町長 今年度は、豊松地区に絞った取り組みの確保と訓練を行う。豊松協働支援センターに協力いただき、5名を選出し現在、講習を受けてい

ただいている。

**問** 町の防災アドバイザーの内山先生は、ドローンの活用についていつも仕事や遊びなどで使われている人の協力が必要であるとの意見があるが、町の取り組みは。

**答** 未来創造課長 現在、町内で仕事として使われている人は少ない。

**問** ドローンを農業散布や、鳥獣害対策などに活用されている方を、地産地防の担い手に育成しては。

**答** 未来創造課長 参考にして、今以上に増員していきたい。



ドローンで農業散布

**問** ハラスメントの告発者  
保護は  
林 憲志 議員

**答** 個人保護をしっかりと  
行う



**守秘義務の徹底**

**問** ハラスメントの告発者に執行機関の上司から直接電話があり、当事者同士で解決を強いられた東京の事例がある。わが町の対応は。

**答** 総務課長 町職員は、守秘義務を守る考えで業務に臨んでいる。特にハラスメントは、個人情報に関わる案件なので、

むやみに人に伝えたり、公にすることは一切しないよう規定に基づいて対処している。

**豪雨災害の対策は**

**問** 7・8月豪雨による被害の状況は。

**答** 町長 道路農地等の災害で国庫補助申請の予定の件数は、64件で、内訳としては、公共土木17件・農災45件・林道災2件。住家などの被災状況は、自宅進入路や自宅裏法面など一部崩土による被害の発生件数が9件だ。(8月24日現在)

**問** 河川・砂防堰堤・ため池・水路などの堆積物の現況と対策は。

**答** 町長 堆積物は年々増えてきていると感じており、河川・砂防堰堤については、今後とも県へ要望していきたいと考えている。

また、普通河川については、災害復旧の進捗を見ながら順次取り組んでいく。ため池・水路については利用される方の日常の維持管理と考える。

**農業分野におけるCO2削減**

**問** 国はCO2削減のため、2050年までに、有機農業を拡大し面積を25%増やす計画だが町の取り組みは。

**答** 町長 町は「神石高原町有機農業推進協議会」を中心に、有機農業の生産振興に取り組んでいる。国の動向をみながら有機農業推進協議会の活動を引き続き支援する。

**問** 新型コロナウイルスワクチン接種の課題と成果は。

**答** 町長 課題は予約体制だ。成果としては、約2000人がインターネットで予約をされており、今後は、この予約体制を拡大していきたい。高齢者へのサポート体制も検討する。

3回目のワクチン接種が検討されているが、今回の反省をふまえ、医療機関と十分協議し、準備をしていきたい。

**問** ワクチン接種の課題と今後の見通しは

横山 素子 議員



**答** 課題は予約体制

**問** コロナ感染拡大で経済的に影響を受けた生活困窮者支援の取り組みは。

**答** 町長 町では、経済的困難な状況にある方を対象に、フードバンク事業を行っている。現在35人の方に登録して頂き、主に食料品を届けている。

**問** コロナ禍で、妊産婦さんへの不安な気持ちなどの把握や支援は。

**答** 町長 妊産婦さんのワクチン接種に対する不安は、把握している。また産婦さんから、「外出制限により、子育て中の方々との情報交換ができていない。」という事なども聞いている。支援については、訪問してパンフレットを配布したり、電話やオンラインなどで相談を受けている。

デジタル技術の活用計画

**問** デジタル技術を活用した健康増進にかか

**答** 町長 基本はインターネット技術を活用して、高齢者を中心とした健康管理を行うという仕組みをモデル事業として取り組むものだ。

**問** ターネット技術を活用して、高齢者を中心とした健康管理を行うという仕組みをモデル事業として取り組むもの

方向が決まり次第説明をしたいと考えている。予算は、費用対効果、継続性をしっかりと検討した上で実行していく。目的は、時代や生活環境が変わり、したくてもできなくなった部分を新しい技術を使って補っていくというものだ。あくまで、合理的な新たなサービスにつなげていくものである。

**問** 歩道設置に優先的な予算要望を

久保田 龍泉 議員



**答** 歩道整備計画に載せてあり要望する

**問** 千葉県の事故をうけ、国は通学路の安全点検を実施するよう指示したが、本町の調査結果は。

**答** 教育長 歩道の設置、緑石の修繕や防護柵の設置など要望が出ており、10月頃関係機関などと安全確保のため、現場点検を実施する。

**問** 神石地区の福永住宅から常盤橋まで約60mの歩道の設置要望が平成30年2月、神石小学校

とPTAから提出されている。優先的な予算措置を県に要望すべきでは。

**答** 町長 県の歩道整備計画に載せてあり、引き続き県に強く要望する。

農業振興について

**問** 神石協働支援センターが行なった、「営農に関するアンケート」では農作業の受委託組織への強い要望があるが、どう対応するのか。

**答** 町長 神石協働支援センターと、町がどのような協力ができるか協議する。

**問** 農業公社の作業受委託範囲は、豊松・三和地区の一部となっているが、他地区にも拡大すべきでは。

**答** 町長 公社が町全体で作業受託することは考えてない。個人の農

地保全に、行政がどこまで関わるか、どこまで公費を支出するかなど、農業振興協議会で議論いただきたい。

**問** 農業公社を核とした農業組織の再編とは。

**答** 町長 町内の15の集落法人も高齢化しており、集約するなど考えられる。

新型コロナウイルスPCR検査は

**問** 県はPCR検査を無料で行っているが、町立病院で出来ないか。

**答** 町長 町立病院では、無症状で濃厚接触者でない人や出張などで検査が必要な人の検査は行っていない。町立病院で実施すると費用もスタッフも必要となり、医師の判断による検査以外は行わない。心配であれば受診をお願いしたい。

**問** 新型コロナ対策は

小川 清治 議員



**答** ワクチン接種の推進と  
町内事業者支援

**問** ワクチン接種状況は、

**答** 町長 2回目接種者は町内対象者の8割を超えた。

**問** 予防接種を受けていない人への対応は、

**答** 保健福祉課長 告知放送やホームページで周知をする。

**問** 園児、小中学生などへの抗体検査は、

**答** 保健福祉課長 国は、新型コロナウイルスの抗原検査を迅速かつ簡易に実施するためのキットの配布をする事としている。

この検査の実施にあたっては、体制整備などが必要であり検討中である。

**問** ワクチン接種を受けたくても受けられない方もあるが、対応は、

**答** 保健福祉課長 今までに受けていない方々約400人に電話をし、接種の周知をした。

**問** ワクチン接種を受けたい人への接種証明による経済活動再開が始まれば、接種者と未接種者の差別などが懸念されるが、対応は、

**答** 町長 実施にあたっては慎重な対応が必要と考える。

**問** 接種証明書を持つ人と持たない人との区別や差別が起こらないよ

う対応を願う。

今後の町内事業者への支援策は、

**答** 町長 大きな影響を受けておられる飲食・宿泊事業者の方を対象とした支援を行っていく。他の事業者の方には、感染症対策に係る国の追加支援に合わせ、必要な支援を検討していく。

**問** マスクと手洗い、ワクチン接種、体調変化があればすぐ医療機関を受診。この3つが重要であるが、取り組みは、

**答** 町長 皆さん一人ひとりがワクチン接種と感染予防をされるように重ねて願います。

**問** 本年度学力テストの結果とその対応策は

**答** 教育長 今年度は、全国の小学校6年生、中学校3年生を対象に5月に実施された。結果は、小学校では、平均正答率、国語63%、算数68%。中学校においては、国語74%、数学61%。県平均と比較して、小学校では、国語マイナス3%、算数マイナス2%

**問** 本年度学力テストの結果は

木野山 孝志 議員



**答** 中学校は県平均を大幅に上回る

であり、県平均を下回った。中学校では、国語プラス9%、数学プラス4%であり、県平均を上回ることができた。特に国語では、県平均を大きく上回っている。

小学校の国語では読むこと、算数ではデータの活用に課題がみられる。中学校国語では、書くこと、数学では図形が特に高い正答率となっている。今後、学力の定着に向け各学校ごとに詳細な分析を行い、今後の指導に生かしたい。

バス路線の再編

**問** 令和3年10月1日から7バス路線が再編となり3路線のみとなる。公共交通手段の確保に向けての対応策は、

**答** 町長 (株)中国バスから路線再編に関する申し入れを本年1月末に受けた。2月上旬に、関係団体の福山市、府中市と協議を行い、3月上旬には、広島県主催の会議へ参加し、路線の存続要望と今後の対応について協議した。

特に影響を受ける高校生の通学手段の確保に向け、事業者と協議を進めてきた。

廃止路線全てに代替策を用意することは困難だが、福山方面へ通学で利用されている路線は、影響が大きいので、ダイヤ改正などにより対応ができないか調整を行っている。

財源の問題もあり、対応策はなかなか見つからない。

財源の問題もあり、対応策はなかなか見つからない。



新型コロナワクチン接種



福山行きは道上経由だけ

# まちの声

議会クイズの解答と共に寄せられた  
要望・意見・感想など主なもの

● 神石高原町をこよなく愛する町民としてひと言

1. 川井谷の四季など観光資源をもっと一般の人にアピール
2. インフラの早期修理・整備。特にアクセス道路
3. 地域に密着した有識者会議の開催
4. 伝統文化の継承
5. 笑顔ある町づくり

(60代 男性)

● 学校で議会のことを習いました。

人の暮らしが楽になるように考えているんだなと思いました。

(10代 男性)

● 毎回、興味深く読ませていただいています。

(70代 男性)

● 議会だよりを毎回楽しみに読ませて載って居ります。

(80代 女性)

● 神石高原町議会の皆様活躍を期待しています。

毎月楽しみにしています。

(80代 女性)

● 暑中お見舞い申し上げます。

時節から、町議の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

(60代 女性)

● 先日はかがやき便りにて生徒の英語発表会を拝見させて頂きました。

英文を暗唱し発表することは、とても難しく、生徒が一生懸命自分の想いを伝える姿勢には大変感心しました。  
引き続き英語教育の更なる進展を期待します。

(60代 女性)

## 国への意見書

### 出産育児一時金の増額を求める意見書



少子化克服にむけ、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるためには、子どもの成長に応じた、きめ細かな支援を重ねていくことが重要である。

出産にかかる費用は年々増加しているため、医療機関から費用の詳しいデータを収集し、実態を把握したうえで増額を要望する。

1 出産育児一時金の支給額を出産に要する実勢価格を反映した金額に増額するとともに、必要な財政上の措置を講じること

提出者 寄定 秀幸 議員  
賛成者 横山 素子 議員

### クイズの答え

- ① 小さな 拠 点形成事業
- ② 若者定 住 応援基金
- ③ 国家戦 略 特区を申請

### 第49回

### 議会クイズ当選者

三和地区 河内ひろみさん

おめでとうございます！

# 油木協働支援センター



**化石は何を語るのか**

**にしかわ化石館 開館**

故西川功さんが研究・採集された、全国的にも希少価値の高いオキナワアナジャコなど、多くの化石・鉱物コレクションを後世に残そうと始まった「化石魅力化プロジェクト」。

化石・鉱物コレクションの整理だけでなく、施設の外觀・内装の改修等、何か月にも及び各方面からの専門的な支援・協力を得て、ついに令和3年10月4日(月)、「にしかわ化石館」として開館しました。

油木協働支援センターでは、この施設の開館が「まちづくり・地域づくり」とともに、「生涯学習推進拠点」となり、「神石高原町教育振興計画」の中の社会教育の充実の具現化の第一歩となることを願っています。

「にしかわ化石館」には、油木地区を中心に町内で採集されたコレクションも多く展示しています。多くの方々に来館いただき、西川功さんが幼少の頃から魅かれた「化石・鉱物の世界」に実際に触れて、感じてみてください。

## にしかわ化石館

毎週：月・水・金 11時～19時  
※祝日・休日は閉館 入場無料

問合せ：油木協働支援センター分室「にしかわ」  
TEL 050-5535-0955

発行責任者 議長 橋本輝久  
住所／広島県神石郡神石高原町小島一七〇一

TEL 084718913340  
FAX 084718514201

## 第50回 議会クイズ GIKAI QUIZ

空欄に適切な言葉をいれてください

- 令和2年度認定  
一般会計決算〇〇〇億861万円
- 〇〇〇導入で実効性ある鳥獣害対策を
- 油木地区に開館した〇〇〇〇化石館

**ヒント** 議会広報をよく読んでね!

### ●応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。(メールFAX可)  
正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。  
応募は、1人・1通に限らせていただきます。

●あて先 〒720-1522 広島県神石郡神石高原町小島1701  
神石高原町議会事務局「第50回議会クイズ係宛」

●FAX 85-4201

●メールアドレス jk-gikai@town.jinsekikogen.hiroshima.jp

●締め切り・はがき 令和3年11月16日(火)消印有効  
・メール 令和3年11月16日(火)17時締切

### ●個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および「まちの声」などの目的以外には利用いたしません。



**議会広報常任委員会**

委員長 小川 善久  
副委員長 柏床 由夫  
委員 橋本 輝久  
委員 寄定 秀幸  
委員 林 憲志

**編集後記**

日本では、スリムと訳される「スマート」本来の意味は、「機敏な」とか「頭がいい」。

スマホは「賢い電話」である。日々機能や性能が更新され、全ての機能を使いこなせる人は少ない。

『習うより慣れよ』まずは自分の興味があることに使ってみては。これから、行われるデジタル化も言葉は難しいが、やってみると案外楽しいかも。(小川)

### 表紙の紹介



コロナ禍でも大盛況。秋の味覚と笑顔でお迎えしています。